

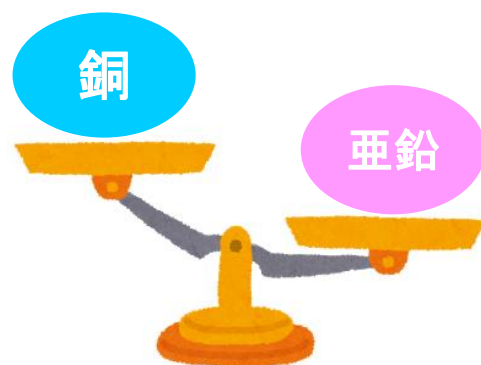
～ NST委員長 曾根先生からのコラム ～

『銅』欠乏性貧血って何？

鉄欠乏性貧血に比べて明らかにマイナーなこの疾患。

最近、味覚障害や褥瘡治療領域では亜鉛欠乏に注目が集まり、亜鉛製剤が投与されることが増えています。

この時に、漫然と亜鉛を長期投与していると発症することがあるのが、『銅』欠乏性貧血です。『亜鉛』と『銅』の吸収がお互いに競合するのが銅欠乏の理由です。



他に、胃切除後・長期の中心静脈栄養管理などでみられます。

疑うポイントは、ビタミンB12欠乏による亜急性連合性脊髄変性症に似た症状です。

具体的には、両下肢の異常感覚や、深部知覚の障害と血液異常です。（必ずしも貧血は、大球性貧血とは限らず：血小板低下は認めないことが多い。）

診断には、血清銅低値と、セルロプラスミン低値を証明することが必要です。そして治療はなんといっても補充です。

食品では “ココア”
内服薬では “アミノレバンEN”
注射薬では “エlemenミック注” です。



ココアを飲むときは頭の片隅にどうぞ・・・